

次世代リーダー育成塾「こころざし」
—第四期開塾式—



延岡市と県工業会県北地区部会が主宰する次世代リーダー育成塾「こころざし」の第4期開塾式がこのほど、エンシティホテル延岡であった。製造業、建設業、金融機関などさまざまな業種の18人が入塾。3年間にわたり、毎月の課題読書リポートや定例会、課外活動などに取り組む。

開塾式には、顧問の読谷山洋司市長や水永正憲塾長、1～3期生のOB OG、4期生など約60人「トヨコロザシ」の4期生（エンシティホテル延岡）

が出席。読谷山市長は「この出会いを喜び、共に戦い成長する仲間は末永い財産となる。健康に気をつけて全力で頑張ってほしい」と激励した。

4期生の紹介後、リー

ター務める有村光生さん（35）は、「本業×革新×地域×仲間」という活動指針を述べ、「力の限り努力したい」と決意を述べた。

講話をした水永塾長は、「イノベーションは二律背反を超えるところに生まれる」と指摘。製造業とサービス業、都会と地方か、グローバルとローカルなど、一律反対に見えることを常に吟味し、「これらを超えていくような視点を持つほしい」と呼び掛けた。

開塾式後は懇親会。4期生はOBやOG、来賓の人たちに積極的に話しかけ、今後の取り組みのアドバイスをもらうなどして交流を深めていた。

「こころざし」は、平成20年4月、熱い思いと志を持って地域経済をけん引する次世代リーダーの育成を目的に開塾。これまでに1～3期生71人が卒塾している。

性（69）は「一度目は店に入つてくるほどではなかったが、2度目の大雨で一気に上がってきた。今までこんなに極端に

上がるとはなかつたのだが」と浸水時の状況を振り返った。

大門町一帯ではけさの2時から3時にかけて大

人の膝ぐらいの高さまで冠水。通行する車は水しづきを上げながら恐る恐る通行していた。

「こころざし」第4期が開講 延岡